

保護者様

県立村上特別支援学校
校長 大谷 誠

令和5年度 学校評価（教育活動の取組）アンケート結果について（ご報告）

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度教育活動の取組について児童生徒、保護者の皆様からご協力をいただきました学校評価アンケート（11月実施）を集計し結果をまとめました。この結果を基に、当校の学校経営や教育活動の改善に生かしていけるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートは、児童生徒、保護者、職員を対象に実施しました。児童生徒、保護者、職員に同じような質問をしており、比較しやすくなっています。アンケートの数値を「4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない」とし、ほとんどの項目について、おおよそ3ポイント以上となり良い結果をいただき、児童生徒は充実した学校生活を送ることができていると考えております。また、ご意見の記入についても「子どもが楽しく学習に取り組めるよう熱心に考えてくれており、少しずつ出来るが増えて感謝しています。」「子どもに日々向き合ってくださりありがとうございます。」など、温かいご意見をいただいております。地域や保護者の皆様のご協力の賜と感謝しております。但し、各学部、項目によって数値が下がっている項目もあり、その特徴を捉えて改善していかなければいけないと考えております。

小学部の保護者の皆様からは、どの項目についても3.5ポイント以上と良い評価をいただいたと考えております。特に項目12が昨年度と比べ高い数値となりましたが、昨年度「卒業後の進路に関する情報提供」の文言を今年度、キャリア教育の視点から「社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力」に変更し、分かりやすく保護者の皆様に伝えることができたかと捉えています。また、職員の評価について項目2や項目3はやや低い評価になっていますが、各評価等の目標や内容が曖昧になってしまったり、ICT機器の有効な活用方法が確立できていなかったりするのではないかと考えています。今後、研修等を重ね学習指導に生かしていきます。

中学部の結果に関しては概ね良い評価をいただいたと考えています。その中で項目4についてやや低い評価となりましたが、友達同士のトラブルが原因と捉えています。中学部は、集団生活の中で相手の立場を考えて行動することが難しい時期です。また、友達とのトラブルを克服して成長していくこともあります。全職員が、小さなトラブルに対しても見逃すことなく適切に対応していくことが大切であると考えています。生徒には、トラブルにならないための行動やより良い人間関係を築くためのスキルを粘り強く伝えていきたいと考えています。

高等部の評価についても概ね良好であると捉えています。生徒アンケートの項目10について、低い数値となりましたが、アンケート実施前に食育についての学習場面を設定できませんでした。来年度、2学期までに食育に関する学習活動を計画実施していきます。また、項目13についてもやや低い数値となり、地域との交流や地域と結びついた活動が不足していたようです。地域との交流や校外学習を実施するときは、ねらいを明確にして、地域の人々との触れ合いや交流を大切にできるような活動を計画していきます。

各学部のアンケートから見えてくる課題についてお伝えしましたが、当校では来年度に向けて課題の改善と教育計画を立てていきます。保護者の皆様からいただいた貴重なアンケートやご意見を基に、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思っております。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

【担当者】

県立村上特別支援学校
教務主任 増田 智吉

児童生徒の記述より「相談したいことや悩み事があれば書いてください。」

- ともだちももっとなかよくなりたい。(小)
→ [友だちと仲良くなれるようなやり方を伝えたり、交流できるような場面をつくったりしていきます。]
- 人のまねをしないでください。(中)
→ [友だちの嫌がることをしないよう伝えていきます。]
- 友だちがちよっかいをだすのがいやだ。(中)
→ [友だちとの正しい関わり方を伝えていきます。]
- 学校で△△さんが騒がしいと□□さんが怒ること。(高)
→ [それぞれの生徒に状況を伝えながら、落ち着いて生活ができるよう支援していきます。]
- 去年と授業のやり方が少し変わっている。(高)
→ [担当教師が変われば、やり方も少し変わるところはあると思います。生徒の皆さんに分かりやすく伝えるよう研修等を重ねていきます。]

保護者の記述より「ご意見などございましたらご自由にお書きください。」

- 先生方も子どもが楽しく学習に取り組めるよう熱心に考えてくれており、子どもが少しずつ出来る事が増え感謝しています。上手に子どものやる気を引き出してくれています。(小)
- 小学校へ行っていきよりも笑顔が多くなり、たくさん学校の事も話してくれるようになりました。この子にとってより良い環境になっています。日々、向き合ってくださいありがとうございます。(中)
- 先生方にいつも一生懸命、指導や支援をいただいて本当に心より感謝いたします。ありがとうございます。(中)
- 先生はとも、子供達の事を本当に親身になり親以上に子供を理解してくれていて、本当に感謝しています。安心して子供を預けられます。(高)
→ [前向きなご意見、ありがとうございます。今後も、しっかりと児童生徒の皆さんに向き合いながら支援していきます。]
- プールの修理修繕遅延がありましたのでNo7の評価は2にさせていただきました。修理の進行状況はいかがでしょう。来年に期待しています。(中) ○プールのない夏にしてほしくないです。(中)
→ [現在、プール改修に向けて準備を進めています。今年の夏から再開予定です。]
- 食事については、特に話すことはありませんでした。地域との交流はもっとあっても良かったと思います。(高)
→ [今年度、2学期地域清掃については、熱中症対策で実施できませんでしたが、時期を移す等対策を取りながら計画していきます。]
- 昨年度、いじめがあったことに学校は気付いてくれませんでした。中学部の頃からあったことにもう少しよく見てほしいです。(高)
→ [そのような状況を招いてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後、「いじめアンケート」や教育相談を定期的の実施しながら、状況を把握、共通理解を図り、いじめのない学校づくりを職員全員で取り組んでいきます。]

様々なご意見ご要望、誠にありがとうございました。

令和5年度 学校評価(結果)

児童生徒

	小	中	高
1 学校の学習は楽しく分かりやすいですか。	3.7	3.6	3.4
2 学校の学習で分かることやできることが増えましたか。	3.7	3.4	3.3
3 学校では、iPadやコンピュータの使い方を教えてもらったり、実際に使ったりして学習していますか。	3.4	3.6	3.5
4 学校の友だちや先生とトラブルなく(仲良く)生活していますか。	3.6	3.0	3.3
5 先生は悩み事や心配事の相談にのってくれますか。	3.6	3.7	3.4
6 先生はよいことをほめてくれたり、悪いことをしたら正しい方法を教えてくれたりしますか。	3.8	3.5	3.4
7 学校では事故やけがをしないで、安全に生活することができますか。	3.6	3.5	3.7
8 先生は火事や地震の時に気をつけることや避難の仕方を教えてくれますか。	3.8	3.6	3.5
9 先生は風邪などにかからない方法や健康について教えてくれますか。	3.6	3.5	3.3
10 先生は3食バランス良く食べる大切さについて教えてくれますか。	3.6	3.5	2.9
11 先生とお家のことを話したり、お家で学校のことを話したりしますか。	3.5	3.2	3.3
12 先生は卒業後の生活に必要な力について教えてくれますか。	3.7	3.5	3.2
13 学校では、他の学校と交流したり、地域に出かけたり、地域の人と交流したりしていますか。	3.8	3.6	3.0
14 運動会やかがやき祭は楽しく充実した活動ができましたか。	3.8	3.8	3.3

保護者

	小	中	高
1 学校は、一人一人の実態に合わせて分かりやすく、工夫しながら授業を行っている。	3.8	3.7	3.5
2 学校は、児童生徒に各教科の力が身に付くように授業を行っている。	3.7	3.7	3.4
3 学校は、児童生徒の実態に応じて学習面や生活面でICTを活用している。	3.7	3.6	3.4
4 児童生徒は、友達や教師とトラブルなく、楽しく学校生活を送っている。	3.4	3.1	3.4
5 教師は、児童生徒や保護者の話をよく聞き、相談にのってくれる。	3.8	3.7	3.4
6 学校は、児童生徒のよさを伸ばし、間違っただけには適切に対応している。	3.8	3.7	3.5
7 学校は、校舎などの教育環境を整備し、安全に学習ができるようにしている。	3.8	3.6	3.6
8 学校は、避難訓練や災害対策を適切に行っている。	3.8	3.6	3.7
9 学校は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないための学習を適切に行っている。	3.9	3.6	3.5
10 学校は、児童生徒の食事について、実態に合わせて支援したり、保護者と相談したりしている。	3.8	3.8	3.6
11 学校は、連絡帳やお便り、個別面談などで学校での様子を保護者に十分に伝えている。	3.9	3.8	3.5
12 学校は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.6	3.7	3.4
13 学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、地域との交流や地域と結びついた活動を行っている。	3.8	3.5	3.2
14 学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるような学校行事を行っている。	3.8	3.7	3.3

職員

	小	中	高
1私(学校)は、障害特性や児童生徒の実態に合わせた指導の方法を工夫している。	3.5	3.4	3.5
2私(学校)は、各教科等の目標や内容を明確にして授業を行っている。	3.1	3.3	3.1
3私(学校)は、教育活動におけるICT活用の有効性を理解し、児童生徒の実態に応じて学習面や生活面でICTを活用している。	3.0	3.4	3.2
4私(学校)は、児童生徒との関わり方や生徒同士の関わりに気を配り、気になることがあれば共通理解を図っている。	3.5	3.7	3.6
5私(学校)は、気になる児童生徒に声を掛けたり、話を最後までしっかり聞いたりするよう心掛けている。	3.4	3.7	3.7
6私(学校)は、児童生徒のよさを大切に、間違っただけには児童生徒の実態に合わせ、寄り添った指導を心掛けている。	3.4	3.6	3.4
7私(学校)は、安全点検日をはじめ、日頃から校舎の不具合や危険個所に気を配り、何かあれば速やかに対	3.5	3.3	3.5
8私(学校)は、避難の仕方等、災害時の対応を自身が理解し、児童生徒に正しく指導している。	3.4	3.7	3.5
9私(学校)は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないために適切に指導している。	3.5	3.6	3.4
10私(学校)は、児童生徒の食事に目を向け、健康な生活が送れるよう指導している。	3.3	3.6	3.4
11私(学校)は、児童生徒の様子や連絡事項等をお便り、連絡帳り、個別面談等で保護者に丁寧に伝えている。	3.5	3.8	3.5
12私(学校)は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.3	3.3	3.4
13学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、地域との交流や地域と結びついた活動を行っている。	3.3	3.2	2.8
14学校は、児童生徒の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるような学校行事を工夫している。	3.3	3.3	2.8

令和6年3月1日

寄宿舎生保護者 様

県立村上特別支援学校

校長 大谷 誠

令和5年度 学校評価（寄宿舎生活の取組）アンケート結果について（ご報告）

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度教育活動の取組について寄宿舎生、保護者の皆様からご協力をいただきました学校評価アンケート（11月実施）を集計し結果をまとめました。この結果を基に、当校の寄宿舎経営や支援の改善に生かしていけるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートは、寄宿舎生、保護者、職員を対象に実施しました。寄宿舎生、保護者、職員に同じような質問をしており、比較しやすくなっています。アンケートの数値を「4：よくあてはまる 3：ややあてはまる 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない」とし、ほとんどの項目について、おおよそ3ポイント以上となり良い結果をいただき、寄宿舎生は充実した寄宿舎生活を送ることができていると考えております。また、ご意見の記入についても「いつも良くしていただいて嬉しいかぎりです。」など、温かいご意見をいただいております、地域や保護者の皆様のご協力の賜と感謝しております。但し、中には相対的に数値が下がっている項目もあり、その特徴を捉えて改善していかなければいけないと考えております。

寄宿舎生、保護者はともに全体的に良好な評価であり、寄宿舎の取組に一定の理解を得られていると考えています。昨年度特に低かった項目11について今年度は高い数値となりました。キャリア教育の視点より昨年度「進路に関しての情報提供」から今年度「社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について」と表現を変えたことで、保護者の皆様に伝わりやすくなったと考えられます。一方で、職員のアンケートでは、項目12「生き生きと活動できるような行事」の数値がやや低く、充実した活動が不十分であったと捉えています。今後、充実した活動となるよう職員間で話し合いながら目的を明確にし、寄宿舎生が楽しめるような内容を計画していきます。

アンケートから見えてくる課題についてお伝えしましたが、当校では来年度に向けて課題の改善と寄宿舎運営計画を立てていきます。保護者の皆様からいただいた貴重なアンケートやご意見を基に、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思っております。今後も当校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

【担当者】

県立村上特別支援学校
教務主任 増田 智吉

舎生の記述より「相談したいことや悩み事があれば書いてください。」

- 落ち着いて過ごしたいです。
→今後、落ち着いて過ごせるような環境を整えたり、行動がとれたりするような支援をしていきます。
- ごはんが元気がでません。お肉を出してください。
→食事については、栄養バランスを考えて献立しています。お肉についても適宜メニューに組み込んでいきます。
- 泣いている人が気になってしまい、手を出してしまうので避難したいです。
→気になるときは、自分で行動できるよう職員が声を掛けるなど支援していきます。
- 夜、ちゃんと寝れていません。
→睡眠時間を確保しながら、正しい生活習慣が身に付くよう声掛けなどしていきます。
- 進路がまだ決まっていないこと。
→学校の担任と連携しながら、随時相談していきます。

保護者の記述より「ご意見などございましたらご自由にお書きください。」

- いつも良くしていただいて嬉しいかぎりです。ありがとうございます。食事に関しては原材料が高騰する中で頑張っていたのですが、もう少し改善はできないかと思えます。これからもよろしく願います。
→ご感想、ありがとうございます。食事についてはおいしくなるよう改善、努力していきます。
- 今年度になり、寄宿舎の食事がおいしくありません。予算の問題もあるのでしょうか。
→食材が高騰している中、限られた予算内で栄養バランスを考え献立しています。少しでもおいしくなるよう努力してまいります。
- 寄宿舎の先生方には大変お世話になっていますが、先生と子どもの間でうまくいかないこともあり残念に思います。
→不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後、そのようなことのないよう全職員で寄宿舎生のために共通理解を図り、改善していきます。

様々なご意見ご要望、誠にありがとうございました。

令和5年度 学校評価（結果） 寄宿舎生・舎生保護者・寄宿舎職員

No.1～No.5…生活支援	No.6～No.9…安全安心	No.10, No.11…家庭地域連携	No.12…行事
----------------	----------------	---------------------	----------

寄宿舎生

1 寄宿舎での活動は楽しく分かりやすいですか。	3.8
2 寄宿舎で分かることやできることが増えましたか。	3.6
3 寄宿舎の友だちや先生とトラブルなく（仲良く）生活していますか。	3.6
4 寄宿舎の先生は悩み事や心配事の相談にのってくれますか。	3.7
5 寄宿舎の先生は良いことをほめてくれたり、悪いことをしたら正しい方法を教えてくれたりしますか。	3.7
6 寄宿舎では事故やけがをしないで、安全に生活することができますか。	3.7
7 寄宿舎の先生は火事や地震のときに気をつけることや避難の仕方を教えてくれますか。	3.8
8 寄宿舎の先生は風邪などにかからない方法や健康について教えてくれますか。	3.6
9 寄宿舎の先生は3食バランスよく食べる大切さについて教えてくれますか。	3.5
10 寄宿舎の先生とお家のことを話したり、お家で寄宿舎のことを話したりしますか。	3.5
11 寄宿舎の先生は卒業後の生活に必要な力について教えてくれますか。	3.5
12 ひまわり祭などの行事は楽しく充実した活動ができましたか。	3.5

寄宿舎生保護者

1 寄宿舎は、一人一人の実態に合わせて分かりやすく、工夫しながら生活支援を行っている。	3.7
2 寄宿舎は、舎生に生活・社会性の力が身に付くように支援を行っている。	3.7
3 舎生は、友達や職員とトラブルなく、楽しく寄宿舎生活を送っている。	3.4
4 寄宿舎職員は、舎生や保護者の話をよく聞き、相談にのってくれる。	3.5
5 寄宿舎は、舎生のよさを伸ばし、間違っただけには適切に対応している。	3.6
6 寄宿舎は、施設設備等を整備し、安全に生活ができるようにしている。	3.6
7 寄宿舎は、避難訓練や災害対策を適切に行っている。	3.5
8 寄宿舎は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないための支援を適切に行っている。	3.7
9 寄宿舎は、舎生の食事について、実態に合わせて支援したり、保護者と相談したりしている。	3.5
10 寄宿舎は、連絡帳やお便り、帰省、帰舎時の引継ぎなどで寄宿舎での様子を保護者に十分に伝えている。	3.7
11 寄宿舎は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.5
12 寄宿舎は、舎生の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるような行事を行っている。	3.7

寄宿舎職員

1 私（寄宿舎）は、障害特性や舎生の実態に合わせた指導の方法を工夫している。	3.3
2 私（寄宿舎）は、各活動の目標や内容を明確にして支援を行っている。	3.3
3 私（寄宿舎）は、舎生との関わり方や舎生同士の関わりに気を配り、気になることがあれば共通理解を図っている。	3.7
4 私（寄宿舎）は、気になる舎生に声を掛けたり、話を最後までしっかり聞いたりするよう心掛けている。	3.5
5 私（寄宿舎）は、舎生のよさを大切に、間違っただけでは舎生の実態に合わせ、寄り添った指導を心掛けている。	3.5
6 私（寄宿舎）は、安全点検日をはじめ、日頃から校舎の不具合や危険個所に気を配り、何かあれば速やかに対応している。	3.3
7 私（寄宿舎）は、避難の仕方等、災害時の対応を自身が理解し、舎生に正しく指導している。	3.5
8 私（寄宿舎）は、健康に関する内容や風邪、感染症にかからないために適切に指導している。	3.6
9 私（寄宿舎）は、舎生の食事に目を向け、健康な生活が送れるよう指導している。	3.3
10 私（寄宿舎）は、舎生の様子や連絡事項等をお便り、連絡帳、帰省、帰舎時の引継ぎなどで保護者に丁寧に伝えている。	3.7
11 私（寄宿舎）は、自立や社会参加に向けて、現在及び将来身に付けてほしい力について共通理解を図っている。	3.5
12 寄宿舎は、舎生の実態や社会状況に合わせて、生き生きと活動できるように行事を工夫している。	3.2